

2019年度 第3四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

第3四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2018年度	2019年度	前年同期比
売 上 高	26,822	27,418	+ 596
営 業 利 益	2,131	1,756	▲ 374
経 常 利 益	2,386	1,962	▲ 423
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,702	1,095	▲ 606

為替レート

\$=111.33円
W=0.1002円

\$=108.89円
W=0.0925円

\$=ドル
W=韓国ウォン

- ・ **売上高**は、機能性樹脂が減少したものの、アグロサイエンス、機能性色素、基礎化学品が増加し、**596百万円の増収**
- ・ **営業利益**は、売上高が増加したものの、原燃料価格の上昇や、販管費の増加により、**374百万円の減益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の減少に加え、為替差益が差損に転じたこと等により、**423百万円の減益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の減少等に加え、退職給付制度終了損、投資有価証券評価損により、**606百万円の減益**

(単位:億円)

科目	2019年 3月末	2019年 12月末	増 減
(流動資産)	273	264	▲8
現預金	75	73	▲2
売上債権	124	106	▲17
棚卸資産	67	78	+10
その他	5	5	+0
(固定資産)	297	308	+10
有形・無形 固定資産	209	224	+15
投資有価証券	73	72	▲1
その他	15	11	▲4
合計	571	572	+1

科目	2019年 3月末	2019年 12月末	増 減
(負債)	202	200	▲2
仕入債務	55	51	▲4
有利子負債	86	75	▲10
その他	61	72	+11
(純資産)	368	372	+4
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	▲0
利益剰余金	99	106	+7
その他	70	67	▲2
合計	571	572	+1

財務指標

・自己資本比率	59.5%	⇒	59.8%
・D/Eレシオ	0.25倍	⇒	0.22倍

有利子負債	86億円	⇒	75億円
現預金	75億円	⇒	73億円

第3四半期累計

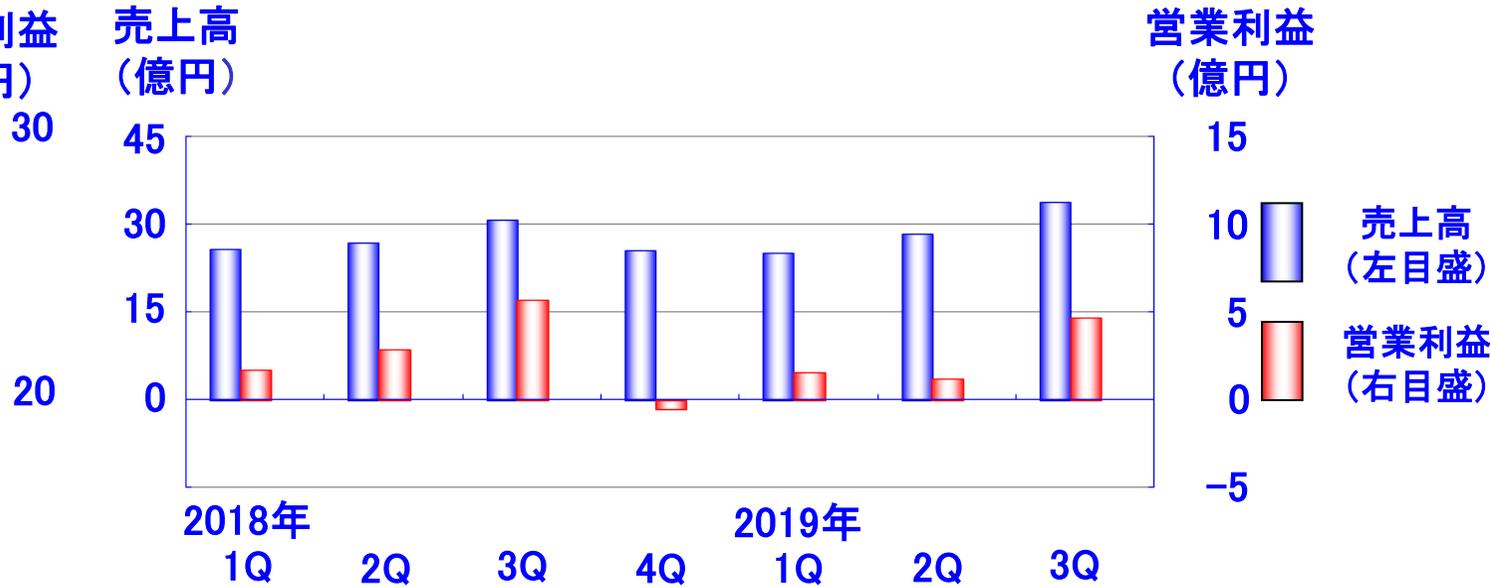
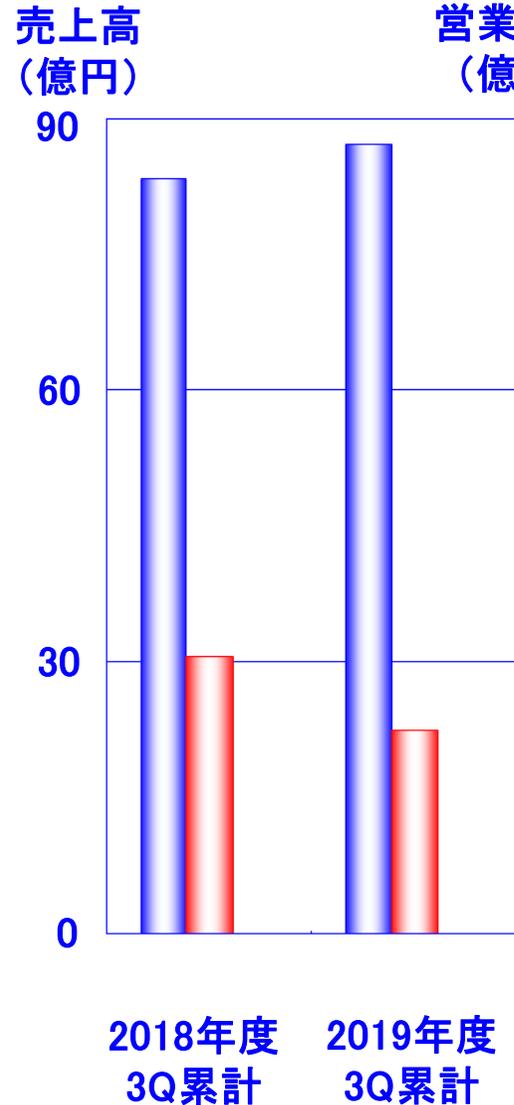
単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2018年度	2019年度	前年同期比
機 能 性 色 素	8,346	8,714	+ 367
機 能 性 樹 脂	9,071	8,801	▲ 270
基 礎 化 学 品	5,140	5,377	+ 237
アグロサイエンス	2,588	2,953	+ 365
物 流 関 連	1,538	1,445	▲ 92
そ の 他	136	125	▲ 11
合 計	26,822	27,418	+ 596

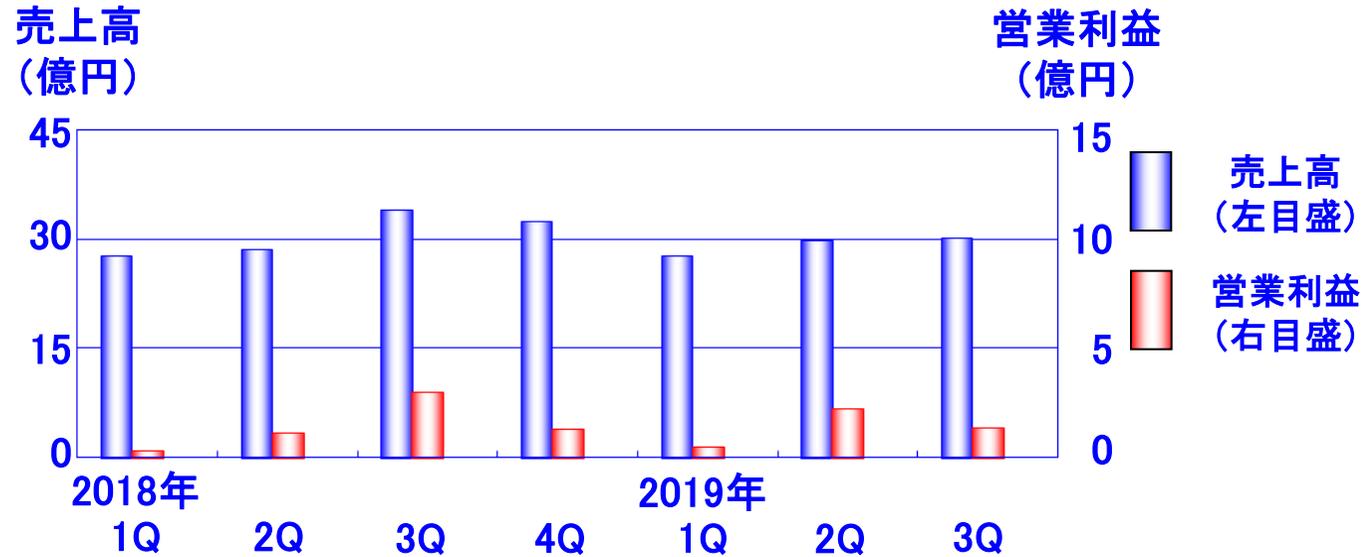
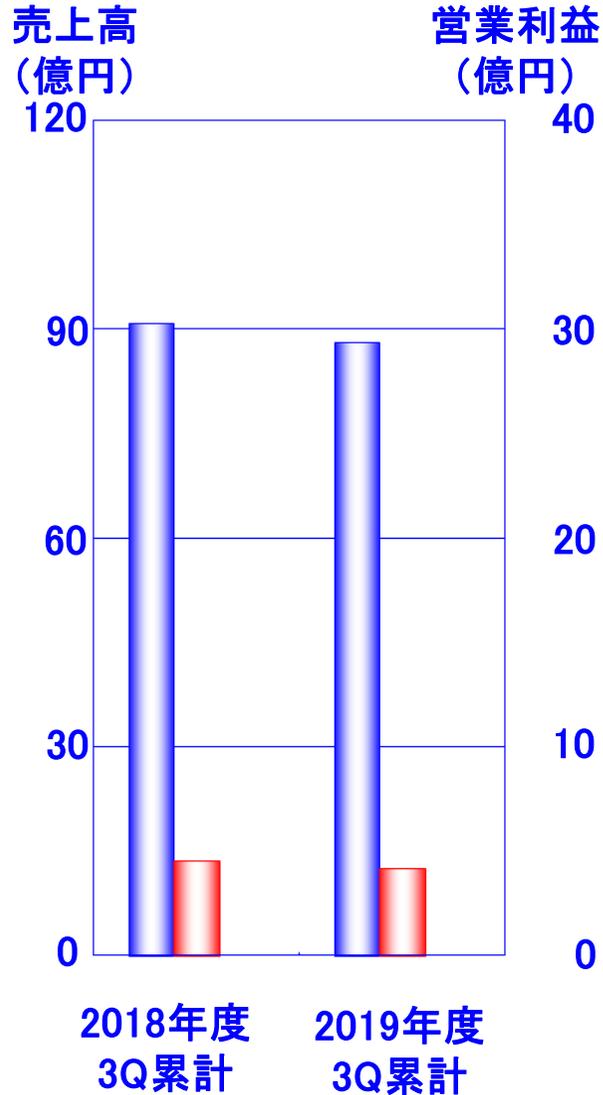
第3四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

セグメント	2018年度	2019年度	前年同期比
機能性色素	1,021	750	▲ 271
機能性樹脂	452	415	▲ 36
基礎化学品	390	394	+ 4
アグロサイエンス	▲ 95	▲ 92	+ 3
物流関連	366	303	▲ 63
その他	▲ 4	▲ 17	▲ 12
合計	2,131	1,756	▲ 374



イメージング材料	・プリンター向けで需要低迷が継続しており、減収	↓
有機EL材料	・ディスプレイ分野での需要が堅調に推移し、増収	↑
色素材料	・デジタル家電向けアルミ着色用染料で需要の減少等があったが、繊維向け染料の需要が増加し、前年同期並み	→



樹脂材料 ・ウレタン原料向けの需要が減少し、減収

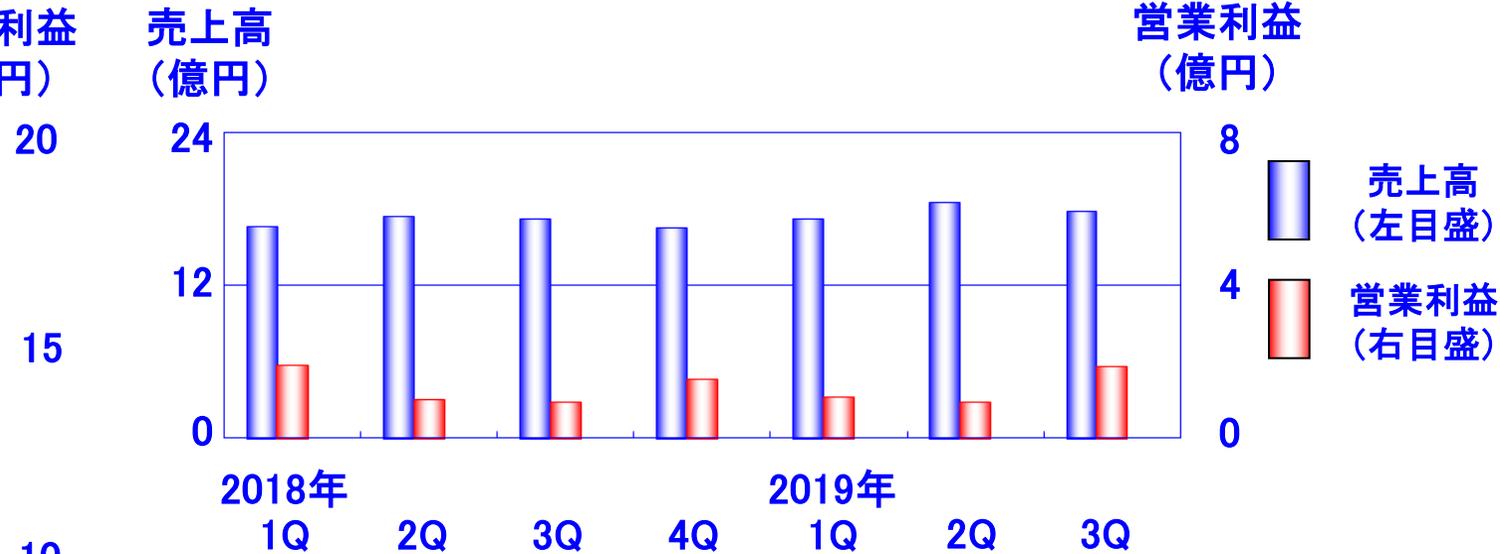
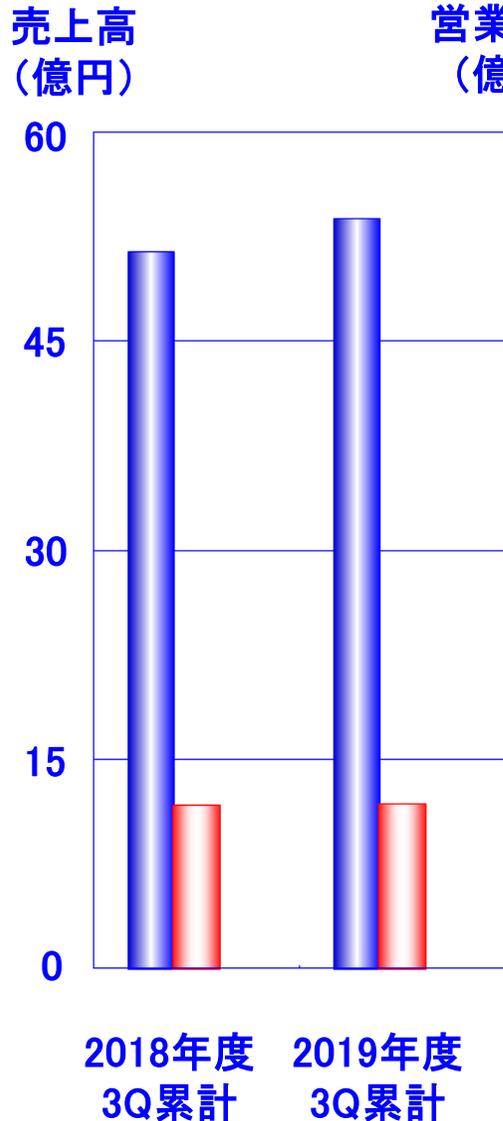


建築材料 ・工事は大型案件の獲得により増加したが、材料販売が振るわず、減収



特殊化学品 ・医薬向けの需要などが増加し、増収





過酸化水素及び誘導品(※) ・過酸化水素は紙パルプ関連の需要が減少する中、半導体関連の需要が増加し、前年同期並み。また、過炭酸ソーダは需要が増加し、増収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等

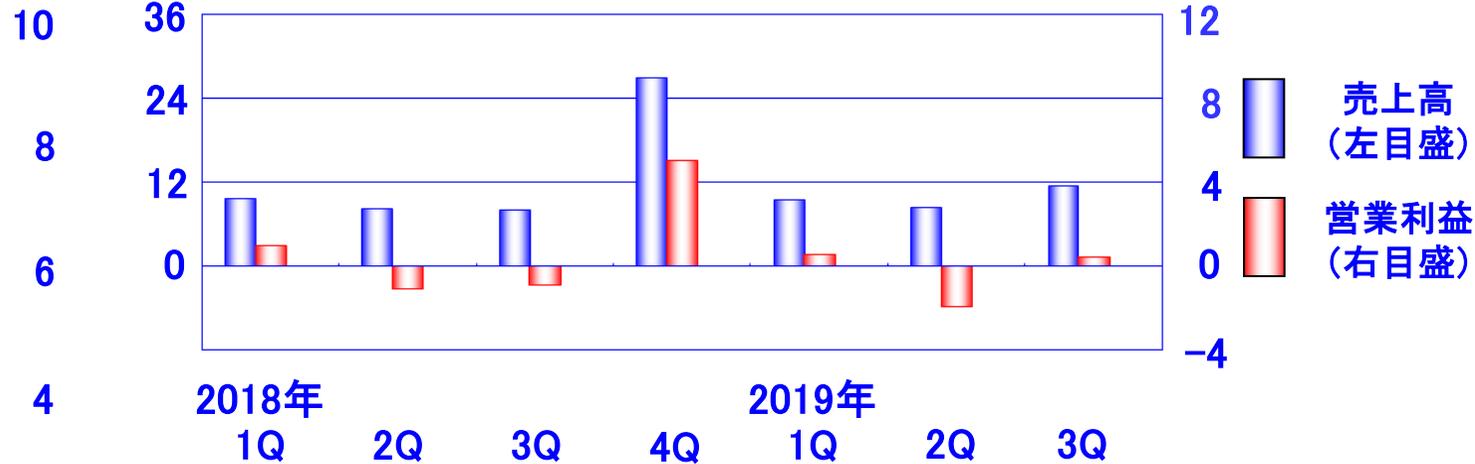
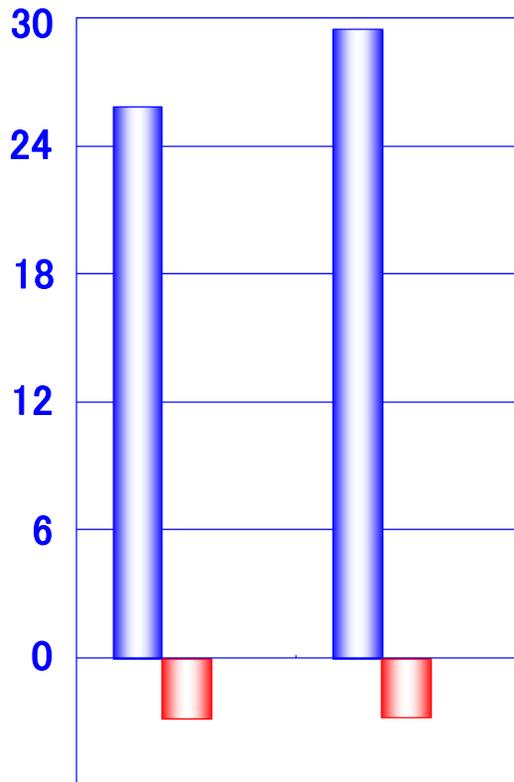


売上高
(億円)

営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



売上高
(左目盛)

営業利益
(右目盛)

2018年度 3Q累計 2019年度 3Q累計

アグロサイエンス

- ・家庭園芸向け除草剤等は、需要が減少したが、ゴルフ場・農耕地向け除草剤や、殺虫剤等で需要が増加し、増収

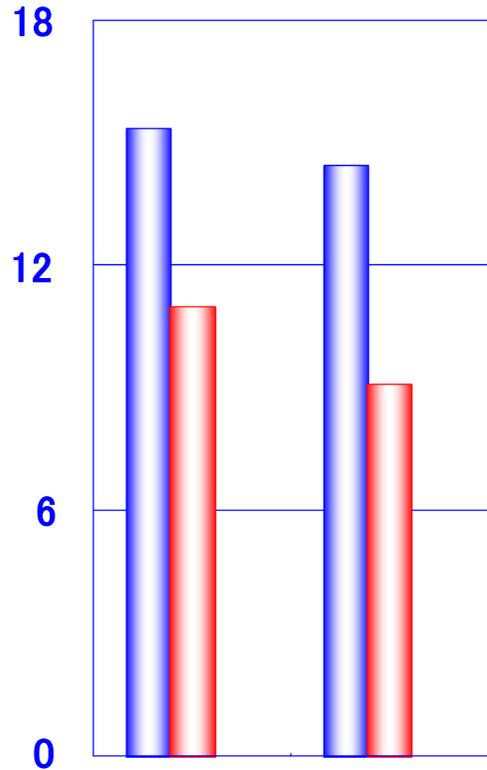


売上高
(億円)

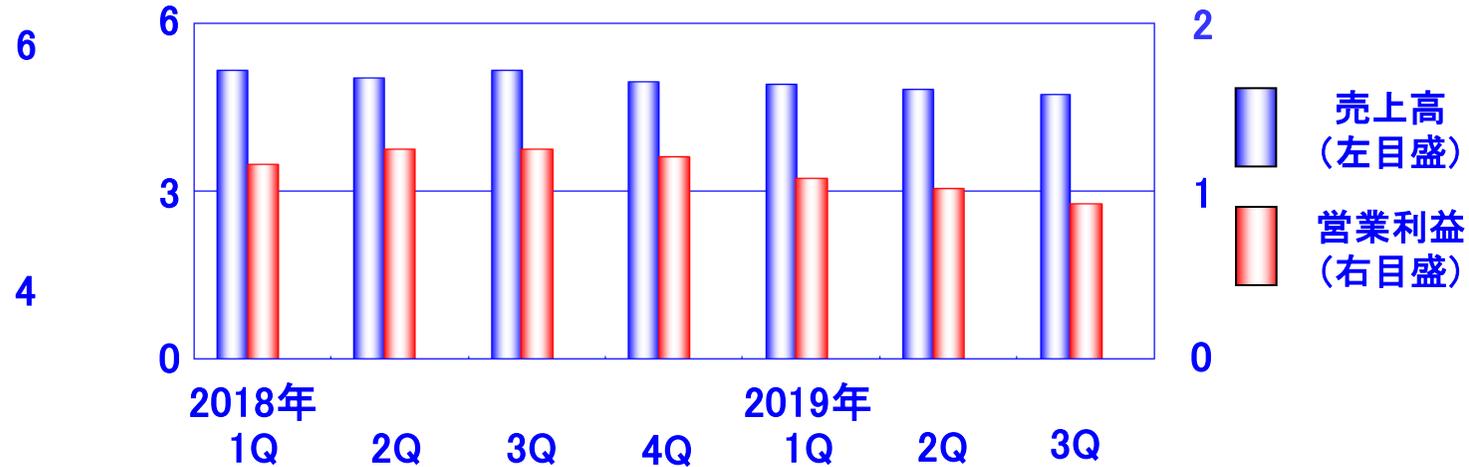
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2018年度 2019年度
3Q累計 3Q累計



物流関連 ・輸出の取り扱い量の減少により、減収